

平川市長 工 藤 貴 弘 様

平川市監査委員 鳴 海 和 正

平川市監査委員 小田桐 正 和

財政援助団体等監査の結果報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等の監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果に関する報告をします。

記

第1 監査の概要

1 監査の目的

市が補助金を交付している次の者について、その事業が補助等の目的に沿って適正かつ効果的に行われているか、また、所管課では適正な交付事務を行っているのか等について監査した。

2 監査の対象

団 体 名 等	所 管 課
県外生徒の保護者	総務部 政策推進課

3 監査実施日及び監査実施場所

実 施 日	実 施 場 所
令和8年2月6日	監査委員事務局

4 監査の範囲

令和6年度に交付された柏農生徒全国募集支援事業補助金交付事務の執行を対象とした。

団体名等	監査対象事業
県外生徒の保護者	柏農生徒全国募集支援事業補助金

5 監査の着眼点

財政的援助に係る出納その他の事務の執行が、適正かつ効率的に行われているかを主眼として、次の観点について団体等及び所管課を監査した。

区分	着 眼 点
県外生徒の保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交付申請に係る添付書類は適時、適正に行われているか。 ・ 実績報告、請求は適時、適切に行われているか。 ・ 領収書等の証拠書類は適正に整備されているか。
所 管 課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金交付に係る要綱は、整備されているか。 ・ 交付目的及び補助金対象事業の内容は明確か。 ・ 補助金の額の算定、交付手続、交付時期等は適切か。 ・ 領収書等の証拠書類により支出の実態を十分に把握しているか。

6 監査の方法

- (1) 補助金交付申請書、補助金交付決定通知書、補助金実績報告書、支出伝票の監査
- (2) 所管課からの聴取調査

第2 監査の結果

1 補助事業の内容

令和6年度

事業目的	<p>青森県立柏木農業高等学校による全国からの生徒募集について、県外からの志願者数を増加させ、同校の活性化を図るため。</p> <p>また、同校への入学を志す県外の中学生の保護者に対し、予算の範囲内において、学校見学やオープンスクールへの参加に要する経費の一部を助成することにより、県外からの入学者の確保につなげることを目的とするため。</p>
	<p>平川市高等学校県外生徒就学等支援事業費助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学準備費 上限7万円 ・ 生活費 上限月5万円（下宿）、上限月3万円（親類等の住宅）

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・通学費 上限年 7 万円 ・帰省費 上限年 10 万円 ・学習費 上限月 1 万円 平川市学校見学等県外参加者助成金 <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の学校見学への参加に伴い宿泊した場合 1 人当たり 1 万円 ・宿泊以外の場合 1 人当たり 5 千円 (1 回の参加につき 2 名を上限とする)
補助金額	1, 033, 000 円
事業成果	青森県立柏木農業高等学校の県外からの入学生に対する入学準備費用及び入学生・在校生へ通学費等への支援により、県外生徒保護者の負担が軽減されるとともに、学業に専念しやすい環境づくりに寄与された。 また、学校見学等県外参加者助成金により、同校の魅力発信に努めるとともに、次年度の入学希望者の確保に寄与された。

2 監査結果

補助金の交付目的及び交付事務等に関する一連の事務処理について、申請書類等进行检查した結果、交付申請、請求、受領及び実績報告の手続きについて、事務処理は適時適正に行われており、会計経理並びに関係書類の整備、記帳及び領収書等証拠書類の管理も適正と認められ、特に問題はなかった。

今回、監査対象とした柏農生徒全国募集支援事業は、青森県教育委員会が、近年において入学者が募集定員に満たない県立高校の活性化を図るため、令和 5 年度入学者選抜より全国からの生徒募集を導入したことに伴い、県外から青森県立柏木農業高等学校（以下、「柏農」と表記。）に入学する生徒を増加させることを目的に、県外生徒の保護者に対し、入学準備費用及び通学費用等を助成するほか、柏農を志す県外の中学生の保護者に対し、学校見学等の費用を一部助成しているものである。

令和 6 年度は、生徒 2 名が柏農に入学し、助成金交付件数は 4 件（入学準備金 2 件、生活費等 2 件）であった。

また、学校見学等に係る県外参加者助成金の交付件数は 3 件であった。

当該事業については、県外生徒保護者の負担が軽減される、県内外の生徒が校内で多様な価値観にお互いに触れることで視野が広がる、親元を離れて高校生活を送ることで県外生徒の自立性が育つなどの多様な効果が図られた点で、高く評価できるものである。

所管課では、令和 7 年度に、柏農と共に全国に向けた生徒募集 PR 及び空き家等を活用した受入れ体制整備を担う地域おこし協力隊員の募集を行い、採用者は令和 8 年度から「地域みらい留学コーディネーター」として活動していただく予

定としており、当該事業が地域おこし協力隊員と連携して進化、拡大されることにより、柏農の活性化が図られると共に、市の活性化に波及していくことを期待するものである。